



# ŌMIYA NEWS



No.016

2023年8月3日

JR 東労組大宮地本

大地申  
第23号

## 「上野東京ライン・湘南新宿ラインの乗務員基地再編について」に関する説明申し入れ交渉開催！！①

### 1. 今施策の実現に向け小金井運転区を廃止し、小金井運輸区を設立する根拠を明らかにすること

組：小金井運輸区を設置するメリットは？

会：運転士と車掌の相互理解が深まり、小山車両センターもあることから異常時対応も向上すると考えている。

組：運輸区という事で安全・安定輸送を提供する為に重要な拠点だという認識はあるか？

会：運輸区は乗務員区であり安全安定輸送をレベルアップしていく中で重要な役割を果たしていると思っている。

### 2. 小金井運転区が果たしてきた役割と会社としての評価を明らかにすること

組：小金井運転区の安全風土の認識を聞きたい。**栃木は濃霧も多いが、20年以上前は速度も落とさず走っていた。正直乗っていて怖かった。そこで「見える範囲で走った方が良いのでは？」と職場で議論し、今は指令に無線を飛ばして速度を落として走っている。またNo4 9番踏切は昔は遮断棒は無かった。(人が渡り切れなくて)とりこが発生していて、組合で安全面を議論し止まってくる中で会社が対応して今は遮断棒が付いている。**

会：様々話しながら安全のための行動もしており、安全対策をしてきて安全意識が高い職場と認識している。

組：**職場では今でも乗務員が次に出場する人に声を掛け合って、出場遅延防止の観点から声を掛け合うコミュニケーションの一つとして「めぐり札」を行っているが会社の評価は？**

会：**かなりの期間をかけて、声を互いに掛けながら出場遅延防止などを行っているのは承知している。出場遅延防止を定量的に図る事は難しいが効果はあると考えている。**

### 3. 小金井運輸区設立に向けてこれまで支社が行ってきた内容を明らかにすること

組：運輸区のスケジュールが変更になってきた中で会社が行ってきた事は？発足時期はダイヤ改正時で良いか？

会：新しい運輸区は行路の変更もあるので設置時期は概ねそうである。「オフィス創造ワーキング」を昨年6月に編成し議論をしてきている。レイアウト、什器、職場の運用ルールであったりを検討していく事となる。

組：レイアウトなどいつ職場の声を聞いてくれるのか？まったく見えない。モチベーションが保てない！

### 4. 小金井運輸区が担当する業務内容及び乗務範囲、ならびに規模感等を明らかにすること。また担当線区外への異動の有無などを明らかにすること

組：提案でも最大でも250名規模と話をされているが、規模感を改めて示すべき。

会：社員配置についてはまだ示せる段階にない。社員管理の視点で最大でも250名規模。

組：担当線区は？

会：**乗務範囲は、今担当しているところを乗務していく考えである。**

組：**異動は提案時にも教育が必要になるので、現状乗務出来る人が異動の対象か？**

会：**運輸区設置時に担当線区に乗務することから、現在乗務出来る人を配置する事が望ましいと考えている。**

組：運転士と車掌の相互運用など検討はしているのか？

会：**現時点で小金井運輸区発足当時には検討はしていない。ただ他の11支社でそのような運用をしている現状を踏まえれば、会社の方針でもあるので将来的にやる可能性は否定できないとも考えている。**

**規模感もなく  
設備を作るのか！  
会社は示すべきだ！**

**現場の意見を汲み取らない運輸区は許されない！！**



# ŌMIYA NEWS



No.017

2023年8月3日

JR 東労組大宮地本

大地申  
第23号

「上野東京ライン・湘南新宿ラインの  
乗務員基地再編について  
に関する説明申し入れ交渉開催！！②

## 5. 食事スペースの確保や事務担当など内勤者の執務スペースなどの考え方を明らかにすること

- 組：乗務員は時間も不規則な中で食事を取る事から、落ち着いて食事が取れるスペースが必要だと考えるが？  
会：食事専用スペースを作るか、宇都宮運輸区のようにどこでも取れる様にするのか検討中である。  
組：食べる箇所もないのでしかたなく取っているだけである！衛生面も配慮した上で安心して食事を取りたい。  
会：食事専用エリアではなく、優先エリアなどルールで検討できればと考えていきたい。  
組：事務担当の声として運輸区は執務室に仕切りもなく、音も気になり業務に集中出来ないという声もある。  
会：機密情報などもあり、気にしながら業務しているという声は把握している。現状としては音の問題はワーキングでは議論になっていて、奥に行くほど音が静かになっていくようなレイアウト配置も検討していきたい。

## 6. 小金井運輸区で安全輸送を提供できる職場環境を整備すること

### 交渉で明らかになったこと一覧

- ・間切りを取れば今の小金井運輸区の AB 会議室より大きい会議室はある。
- ・更衣室は男女とも 3 階。休養室、浴室は 4 階、5 階にそれぞれ設置していく事となる。
- ↳ 組合：女性の意見とすれば、どこの乗務員区もロッカーと浴室は一緒のエリアで異動しやすい。一緒のエリアの方が利便性がある。自分たちでシャンプーなど持っていつている背景もある。理解出来ない。
- ・点呼台は 3 台は入る余地はあるがまだ確定ではない。アルコール検知器の設置個所も検討している。
- ・シミュレーター室は運転士で 1 つと車掌で 1 つを考えている。
- ・指導員はフリーアドレスで考えている（場所を決めない）が、指導ワーキングで議論していくこととなる。
- ↳ 組合：「今日は指導員はいないのかな」と思うときがある。臨時乗務など事前に指導に聞きに行く場合はあり安全輸送に直結するためレイアウトなど検討するべきだ！
- ・カバン置き場は設置していく考えである。宇都宮運輸区のカバンの上に帽子が置けない、手提げが置けないというような声があるので、そういった事も含めて検討はしていきたい。各個人ではなく共用になる。
- ・ロッカー室にもカバン置き場を作る、乗務が終わればそこに置くイメージである。
- ・ロッカーは名前を付ける事は考えていない。理由は防犯の観点や社員の異動時に氏名札を変えなくても良いなどが考えられる。管理者も同じロッカールームを使う事となる。
- ・休養室に行路番号や起床時間など表記していくかなどはまだ議論になっていない。
- ↳ 組合：職場からすると定期行路は記載して欲しい。部屋を再確認したり、他の人が間違える事がある。
- ・男女休養室に関しては可変エリアを作ってエリアを区切って使えるようにする。

**現場の声を反映しない運輸区は誰も望んでない！**